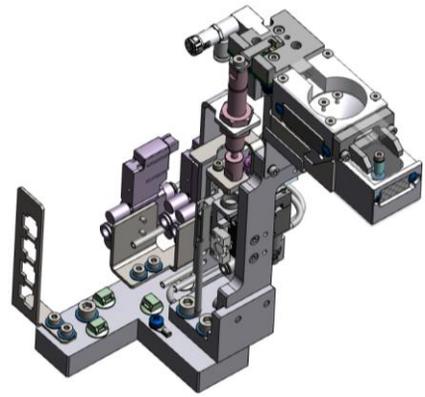


LCRチェッカー

1.フィーダータイプ



2.設備内蔵タイプ



New

リールセットミスによる誤実装の防止

■ 特長

実装直前にLCR部品の定数をチェックし、誤実装を防止

■ 基本仕様

		フィーダータイプ*2	内蔵タイプ
対象設備*1		NPM-D/D2/D3/W/W2/TT/TT2/DX/WX	NPM-D3/W2/DX/WX
対象部品サイズ		0603~3216(T:Max 1.5mm)	0402~■6mm(T:Max5.0mm)
対象部品		R (抵抗) C (コンデンサ) L (コイル)	R (抵抗) C (コンデンサ) L (コイル)
測定箇所		電極底面	電極縦側
測定精度		±10%	±10%
測定範囲	R	10Ω~100MΩ	0Ω~100MΩ
	C	10pF~100μF	1pF~100μF
	L	1μH~47μH	4.7nH~100μH

* 1 : ソフトウェアのバージョンアップ (有償対応) が必要になる場合がございます。

* 2 : 取扱先 第一実業株式会社になります。

■ 部品照合時の誤実装のメカニズム



お客様で、
リール部品受け入れ時に
独自のバーコードを貼り付け。



部品照合で読み込むのは、
ヒトが貼り付けたバーコード。



リール部品受け入れ時に
誤バーコード貼付発生。
⇒**バーコード照合:OK**でも、
誤実装発生

■ LCRチェッカー（フィーダタイプ）

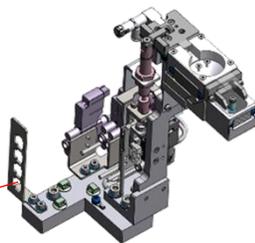
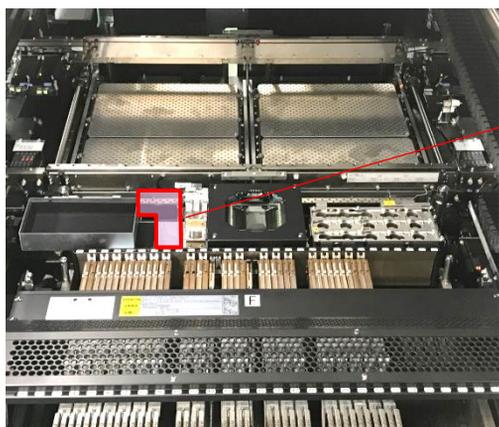


LCRチェッカー計測部

指定したリール部品の生産開始・リール供給・スライシング検出後の初回吸着時に、実装ヘッドで、LCRチェッカー計測部にチップ部品を供給して、定数をチェックします。

計測範囲外の場合は、エラー停止します

■ LCRチェッカー（内蔵タイプ）



計測方法はフィーダタイプと同様です。
メリットとして、
供給部を占有する事無く、設置可能です。
また、対象部品と測定範囲を拡大しています。